



平成23年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 蛇の目シン工業株式会社
コード番号 6445 URL <http://www.janome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞壁 八郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡部 知彦

TEL 042-661-3071

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 17,811 | 6.1 | 1,115 | 518.4 | 980 | | 567 | |
| 22年3月期第2四半期 | 16,782 | 22.8 | 180 | 20.6 | 11 | 93.0 | 21 | |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 2.94 | |
| 22年3月期第2四半期 | 0.11 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|-----|--------|-----|--------|----------|-----|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 47,321 | | 13,633 | | 27.7 | 67.86 | |
| 22年3月期 | 50,512 | | 13,649 | | 25.9 | 67.56 | |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 13,119百万円 22年3月期 13,060百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 23年3月期 | | 0.00 | | | |
| 23年3月期 (予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 37,000 | 3.5 | 1,800 | 34.2 | 1,200 | 25.4 | 800 | 51.2 | 4.14 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 社 (社名)、 除外 社 (社名)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 195,214,448株 22年3月期 195,214,448株
期末自己株式数 23年3月期2Q 1,892,376株 22年3月期 1,892,066株
期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 193,322,250株 22年3月期2Q 193,322,474株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1 . 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2 . その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3 . 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4 . 補足情報 | 10 |
| (1) 所在地別セグメント情報 | 10 |
| (2) 海外売上高 | 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における内外の経済情勢は、各国の大胆な景気刺激策、金融市場安定化に向けた金融施策などにより、新興国経済がいち早く成長基調に戻り、主要先進国諸国も緩やかながらも景気回復基調に転じております。

しかしながら、急激な円高の進行・長期化、厳しい雇用情勢の継続、米国経済の減速懸念などにより、景気の先行きに不透明感が強まる状況となっております。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループは、前期における「収益改善計画」により築き上げた収益構造の維持・強化を図りながら、売上拡大に向けての新機種投入など積極的な販売促進策を通じて、利益の確保・拡大に注力いたしました。

家庭用機器事業においては、海外市場では、急激な円高の影響を受けたものの、新製品の販売が好調に推移し、特に、北米や欧州などの大型市場における牽引役として、売上・利益の増加に貢献しました。合わせて、アジア・中南米などの新興国市場においても積極的な販売促進策の展開により堅調に推移しました。一方、国内市場では、ミシン・24時間風呂の新機種投入、各種展示会への出展など需要の喚起と市場の活性化を図りましたが、消費者の購買意欲の底上げには至らず、販売単価も低下するなど低調に推移しました。その結果、ミシンの売上台数は約80万台（前年同期比約5万台増）となり、家庭用機器の売上高は14,241百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は855百万円（前年同期比128.0%増）となりました。

産業機器事業においては、卓上ロボット・エレクトロプレスなどの売上は、特に中国、韓国、タイを主としたアジア市場において情報機器関連や自動車部品関連産業などからの受注が拡大し、好調に推移しました。また、ダイカスト鋳造品においても、エコカー補助制度などの自動車需要刺激策の効果もあり、堅調に推移しました。その結果、産業機器の売上高は2,137百万円（前年同期比66.1%増）、営業利益は259百万円（前年同期は180百万円の営業損失）となりました。

ITソフト開発を含む、その他の事業においては、IT関連投資需要の回復の遅れもあり、売上高は1,432百万円（前年同期比21.7%減）となりましたが、ソフト開発の内製化促進による外部委託費の減少などにより、営業利益は21百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、17,811百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は1,115百万円（前年同期比518.4%増）、経常利益は980百万円（前年同期比968百万円増）、四半期純利益は567百万円（前年同期比546百万円増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は47,321百万円（前連結会計年度末比3,191百万円減）となりました。資産の部では、流動資産が現金及び預金の減少等により17,586百万円（前連結会計年度末比2,576百万円減）となりました。固定資産は減価償却による減少等により29,734百万円（前連結会計年度末比615百万円減）となりました。

負債の部は、流動負債が短期借入金の減少等により3,062百万円減少し、固定負債が退職給付引当金の減少等により112百万円減少した結果、33,687百万円（前連結会計年度末比3,175百万円減）となりました。

純資産の部は、四半期純利益により株主資本が増加したものの、為替換算調整勘定等の減少により13,633百万円（前連結会計年度末比15百万円減）となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から2,562百万円減少し、4,307百万円（前年同期比845百万円増）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益871百万円、たな卸資産の増加683百万円、仕入債務の増加549百万円などによる資金の増減があり、932百万円の資金の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、海外販社所有の不動産売却などの固定資産売却による収入176百万円、有形固定資産取得による支出211百万円、無形固定資産取得による支出209百万円などにより、275百万円の資金の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少3,792百万円、長期借入れによる収入2,700百万円、長期借入金の返済1,941百万円などにより、3,078百万円の資金の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移いたしましたが、通期の業績見通しについては、景気の減速懸念や為替及び原材料価格の動向等に先行き不透明な要因があるため、前回公表値を据え置いています。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価引下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

なお、一部の子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

なお、一部の子会社においては、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は、55百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,935 | 7,471 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,799 | 6,128 |
| 商品及び製品 | 4,010 | 3,751 |
| 仕掛品 | 474 | 397 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,531 | 1,499 |
| その他 | 960 | 1,029 |
| 貸倒引当金 | 125 | 117 |
| 流動資産合計 | 17,586 | 20,162 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 6,818 | 7,129 |
| 土地 | 15,873 | 15,945 |
| その他(純額) | 2,114 | 2,184 |
| 有形固定資産合計 | 24,806 | 25,260 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 917 | 1,000 |
| その他 | 737 | 554 |
| 無形固定資産合計 | 1,654 | 1,555 |
| 投資その他の資産 | 3,273 | 3,534 |
| 固定資産合計 | 29,734 | 30,350 |
| 資産合計 | 47,321 | 50,512 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,186 | 2,990 |
| 短期借入金 | 11,197 | 14,531 |
| 1年内償還予定の社債 | 800 | 800 |
| 未払法人税等 | 204 | 282 |
| 賞与引当金 | 477 | 306 |
| その他 | 2,038 | 2,054 |
| 流動負債合計 | 17,903 | 20,966 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 60 | 60 |
| 長期借入金 | 5,787 | 5,681 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 5,064 | 5,064 |
| 退職給付引当金 | 4,146 | 4,368 |
| その他 | 725 | 723 |
| 固定負債合計 | 15,784 | 15,897 |
| 負債合計 | 33,687 | 36,863 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,372 | 11,372 |
| 資本剰余金 | 823 | 823 |
| 利益剰余金 | 2,410 | 2,936 |
| 自己株式 | 325 | 325 |
| 株主資本合計 | 9,460 | 8,935 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 40 | 51 |
| 繰延ヘッジ損益 | 23 | 2 |
| 土地再評価差額金 | 5,969 | 5,927 |
| 為替換算調整勘定 | 2,247 | 1,748 |
| 評価・換算差額等合計 | 3,658 | 4,125 |
| 少数株主持分 | 513 | 588 |
| 純資産合計 | 13,633 | 13,649 |
| 負債純資産合計 | 47,321 | 50,512 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 16,782 | 17,811 |
| 売上原価 | 9,904 | 10,015 |
| 売上総利益 | 6,877 | 7,795 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,697 | 6,680 |
| 営業利益 | 180 | 1,115 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 14 | 10 |
| 受取配当金 | 46 | 18 |
| 為替差益 | 9 | 13 |
| 助成金収入 | 60 | 7 |
| 受取和解金 | - | 73 |
| その他 | 73 | 60 |
| 営業外収益合計 | 204 | 185 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 242 | 227 |
| その他 | 130 | 91 |
| 営業外費用合計 | 373 | 319 |
| 経常利益 | 11 | 980 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 9 | 117 |
| 補償金受入益 | 421 | - |
| 事業譲渡益 | - | 49 |
| 特別利益合計 | 430 | 167 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | - | 68 |
| 固定資産除売却損 | 26 | 26 |
| 環境対策引当金繰入額 | - | 16 |
| 事業再編損 | - | 111 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | - | 55 |
| 貸倒引当金繰入額 | 117 | - |
| 特別損失合計 | 143 | 276 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 298 | 871 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 216 | 221 |
| 法人税等調整額 | 37 | 108 |
| 法人税等合計 | 254 | 329 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | - | 541 |
| 少数株主利益又は少数株主損失() | 23 | 26 |
| 四半期純利益 | 21 | 567 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 298 | 871 |
| 減価償却費 | 507 | 445 |
| のれん償却額 | 87 | 83 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 170 | 176 |
| 受取利息及び受取配当金 | 60 | 29 |
| 支払利息 | 242 | 227 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | - | 68 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 194 | 235 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 610 | 683 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 591 | 549 |
| その他 | 297 | 261 |
| 小計 | 1,615 | 1,381 |
| 利息及び配当金の受取額 | 60 | 30 |
| 利息の支払額 | 268 | 187 |
| 法人税等の支払額 | 220 | 292 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,187 | 932 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | - | 34 |
| 定期預金の払戻による収入 | 13 | 16 |
| 有形固定資産の取得による支出 | 429 | 211 |
| 有形固定資産の売却による収入 | - | 176 |
| その他 | 265 | 223 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 150 | 275 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 1,215 | 3,792 |
| 長期借入れによる収入 | 450 | 2,700 |
| 長期借入金の返済による支出 | 1,573 | 1,941 |
| その他 | 33 | 44 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,372 | 3,078 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 10 | 140 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,346 | 2,562 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | 58 | - |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,866 | 6,869 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,461 | 4,307 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

| | マシン関連事業 (百万円) | 産業機器事業 (百万円) | 情報処理他サービス事業 (百万円) | 24時間風呂・整水器事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|------------------|-----------------|----------------------|-----------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 12,888 | 1,286 | 1,829 | 779 | 16,782 | - | 16,782 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 16 | 282 | 442 | 15 | 756 | (756) | - |
| 計 | 12,904 | 1,568 | 2,271 | 795 | 17,539 | (756) | 16,782 |
| 営業利益又は 営業損失() | 410 | 180 | 10 | 34 | 184 | (4) | 180 |

(注) 1 事業区分の方法：製品種類別区分によっております。

2 各事業の主要な製品

- (1) マシン関連事業.....マシン及びその他付属品
- (2) 産業機器事業.....ロボット、エレクトロプレス、注型・成形品、ダイカスト鑄造品
- (3) 情報処理他サービス事業...ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸、メンテナンスサービス、レストラン運営
- (4) 24時間風呂・整水器事業...24時間風呂、整水器

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、製品種類別区分によるとともに、製品事業別構成単位より財務情報を入手可能なものとなっております。

取締役会は経営資源の配分及び業績を評価するため、当該製品セグメントについて定期的に検討を行っているものであります。

従って、当社は製品別に「家庭用機器事業」及び「産業機器事業」の2つを報告セグメントとしております。

「家庭用機器事業」は、ミシン・24時間風呂等の家庭用機器の製造・販売を行っております。「産業機器事業」は、卓上ロボット・エレクトロプレス・ダイカスト鋳造品等の産業機器の製造・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------|------------|--------|
| | 家庭用機器 | 産業機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,241 | 2,137 | 16,378 | 1,432 | 17,811 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 19 | 414 | 433 | 489 | 922 |
| 計 | 14,261 | 2,551 | 16,812 | 1,922 | 18,734 |
| セグメント利益 | 855 | 259 | 1,115 | 21 | 1,136 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸等を含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,115 |
| 「その他」の区分の利益 | 21 |
| セグメント間取引消去 | 21 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,115 |

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 東南アジ ア (百万円) | その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|--------------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上 高 | 11,318 | 2,671 | 256 | 2,535 | 16,782 | - | 16,782 |
| (2) セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 3,414 | - | 6,230 | 14 | 9,659 | (9,659) | - |
| 計 | 14,732 | 2,671 | 6,487 | 2,550 | 26,442 | (9,659) | 16,782 |
| 営業利益又は 営業損失() | 259 | 18 | 270 | 146 | 176 | 4 | 180 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 東南アジ ア (百万円) | その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|--------------------|---------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上 高 | 12,175 | 2,680 | 336 | 2,618 | 17,811 | - | 17,811 |
| (2) セグメント間の内部売 上高又は振替高 | 4,836 | - | 7,286 | 3 | 12,126 | (12,126) | - |
| 計 | 17,012 | 2,680 | 7,622 | 2,621 | 29,938 | (12,126) | 17,811 |
| 営業利益又は 営業損失() | 712 | 205 | 253 | 201 | 1,373 | (258) | 1,115 |

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米.....米国、カナダ

東南アジア.....台湾、タイ

その他の地域...イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | 北米 | 欧州 | その他の地域 | 計 |
|----------------------|-------|-------|--------|--------|
| 海外売上高（百万円） | 2,858 | 3,358 | 3,249 | 9,465 |
| 連結売上高（百万円） | | | | 16,782 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合（％） | 17.0 | 20.0 | 19.4 | 56.4 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

| | 北米 | 欧州 | その他の地域 | 計 |
|----------------------|-------|-------|--------|--------|
| 海外売上高（百万円） | 2,895 | 4,005 | 3,889 | 10,790 |
| 連結売上高（百万円） | | | | 17,811 |
| 連結売上高に占める海外売上高の割合（％） | 16.3 | 22.5 | 21.8 | 60.6 |

（注）1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米.....米国、カナダ

欧州.....イギリス、オランダ、ドイツ、スイス

その他の地域...東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米